

【地域政策研究科博士前期課程・春季日程：共通問題】

掲載しているものは解答例で、他の表現もあり得ます。そのため、解答例以外も正答とする場合があります。

(選択1)

(1)

- ①宿泊業は他産業に比べて給与水準が低く、不規則な勤務シフトであることが多いなど、労働条件が悪いこと
- ②地方部の観光地では、住居や商業施設が充実していないことも多く、生活環境が良好ではないと考えられること
- ③宿泊業に限ったことではないが、地方部において労働力人口の減少傾向が続いていること

これらのうち、いずれかまたは複数の観点から、多様な側面を列挙し説明しているものを高評価とする。

(2)

- ①清掃ロボット導入や自動チェックイン機導入など、デジタル技術の活用に対する財政的支援を行う（生産性向上による給与水準や勤務シフトの改善を図る対応）
- ②従業員寮の整備や、企業による住宅借り上げに対する財政的支援を行う（生活環境の改善に関する対応）
- ③地域への就労を目的とした移住促進のための財政的支援を行う（労働力人口確保に関する対応）
- ④外国人材の受け入れ促進を目的とした財政的支援を行う（労働力人口確保に関する対応）

これらのうち、いずれかまたは複数の観点から、多様な側面を列挙し説明しているものを高評価とする。

(選択2)

- ①直接効果と間接効果が混在していること
- ②①の結果、便益の二重計算、あるいは三重計算の可能性が存在すること
- ③地域開発効果、産業振興は同義の用語であり定義が曖昧であること
- ④文章通りに便益評価を試みてもA地域よりさらに大きな経済効果を生み出す地域が存在する可能性があること

これらのうち、いずれかまたは複数の観点から、多様な側面を列挙し説明しているものを高評価とする。

(選択3)

- ・自治会等の地縁組織の補完機能
- ・狭域自治（自治会等）と広域自治（RMO）の役割分担
- ・域内の自治会等に共通する課題に取り組む

(理由) RMO は、自治会等にとって代わるものではなく、それらを補完したり、役割を分担したりすることで地域の持続可能性を実現できることが考えられるから

- ・団体間の横のつながりをつくる

(理由) 従来縦割りとなっている地域内の地域団体や機関等がその垣根を越え、お互いの課題やノウハウを共有したり、共通課題に取り組んだりすることができるから

- ・新たな担い手の発掘・育成

(理由) RMO が補完機能を果たすとした場合、従来までの自治会等の役員がそのまま RMO を担うのでは課題解決の困難さや負担が増すことも考えられるため、RMO の形成には新たな人材の発掘・育成が前提となるから

- ・多様な人びとの参加
- ・話し合いの場づくり

(理由) そこに暮らす人びとのニーズ、あるいは知恵と工夫をできるだけ引き出すことが重要となる。そのため性別、年齢、職業等をめぐって多様な人びとが率直に意見を出し合える話し合いの場づくりが大切となるから